

# 2020 中野区区民意識・実態調査 《概要版》

## 調査の概要

〔調査の項目〕

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1 定住意向について         | 13 地震災害への対策について        |
| 2 生活環境について         | 14 人権・男女共同参画について       |
| 3 中野区への愛着度について     | 15 パートナースhip宣誓について     |
| 4 区政参加について         | 16 ユニバーサルデザインについて      |
| 5 社会や地域との関わりについて   | 17 医療保険・国民年金制度について     |
| 6 区民の文化芸術活動について    | 18 区政情報の入手について         |
| 7 生涯学習について         | 19 外国の方との交流・外国人旅行者について |
| 8 自転車利用について        | 20 環境に関する理解・関心について     |
| 9 中野駅周辺について        | 21 スポーツ支援について          |
| 10 中野駅周辺以外の鉄道駅について | 22 中野区のまちの姿について        |
| 11 商店街に行く頻度について    | 23 施策への評価・要望について       |
| 12 公園・広場等の利用について   |                        |

※他の調査項目は、報告書参照

〔調査対象〕 中野区民で20歳以上の男女個人

〔標本数〕 2,000人

〔有効回収数〕 1,148人（57.4%）

〔抽出方法〕 層化二段無作為抽出法

〔調査方法〕 郵送配布・郵送回収

〔調査期間〕 令和2年10月8日（木）～令和2年10月29日（木）

## 結果の見方

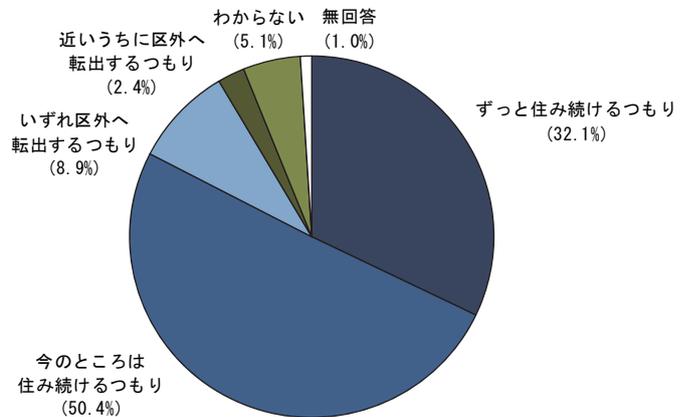
- （1）（○はいくつでも）（○は2つまで）（○は3つまで）（○は最大3つまで）（回答は3つまで）と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問である。
- （2）回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、単数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が100.0%に満たない、または上回る場合がある。
- （3）複数回答の設問については、すべての選択肢の比率の合計が、通常100.0%を超える。
- （4）本文やグラフ・数表上の選択肢の表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- （5）グラフに表記される「n=\*」（\*は数字）は、集計対象の母数を表している。

2021年（令和3年）2月  
中野区

# 1 定住意向について

## (1) 区内定住意向

定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(32.1%)と「今のところは住み続けるつもり」(50.4%)を合わせた《定住意向あり》(82.5%)は8割前半となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(8.9%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(2.4%)を合わせた《転出意向あり》(11.3%)は約1割となっている。

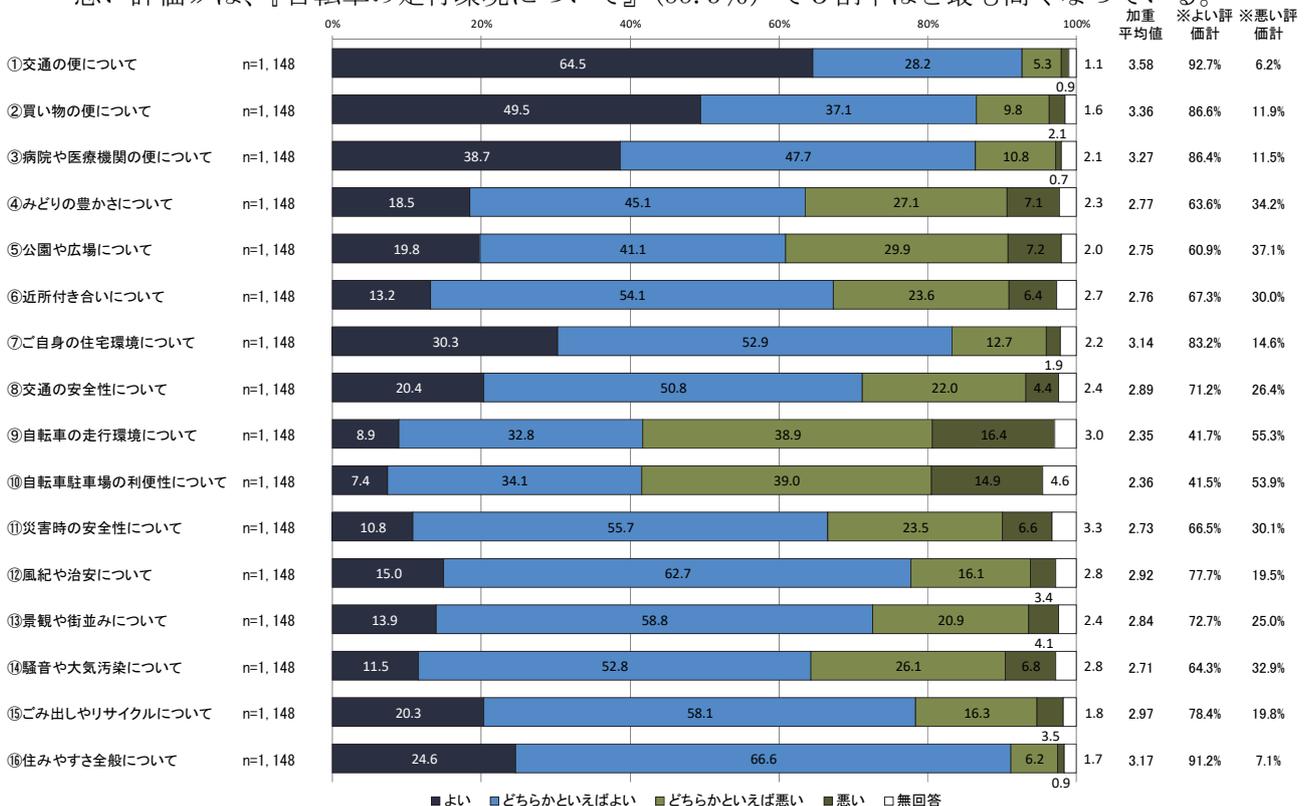


n=1,148

## 2 生活環境について

### (1) 生活環境の評価

生活環境について聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた《よい評価》は、『交通の便について』で9割前半と最も高く、次いで『住みやすさ全般について』(91.2%)、『買い物の便について』(86.6%)となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた《悪い評価》は、『自転車の走行環境について』(55.3%)で5割半ばと最も高くなっている。

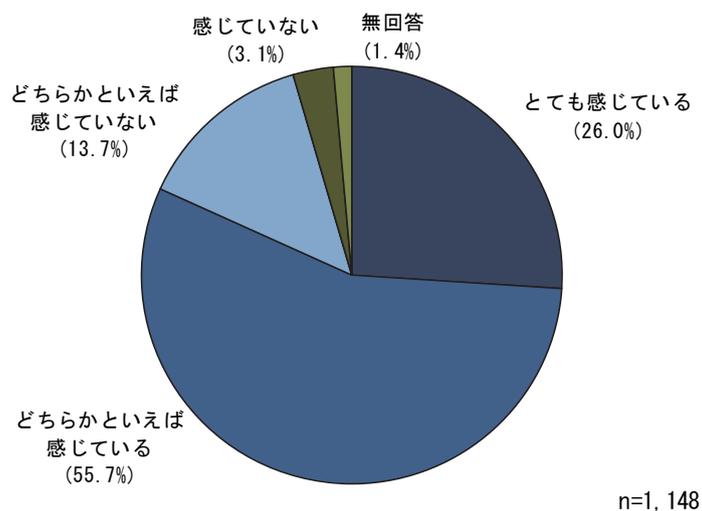


※加重平均値は、選択肢「よい」を4点、「どちらかといえばよい」を3点、「どちらかといえば悪い」を2点、「悪い」を1点として算出している。

### 3 中野区への愛着度について

#### (1) 中野区への愛着度

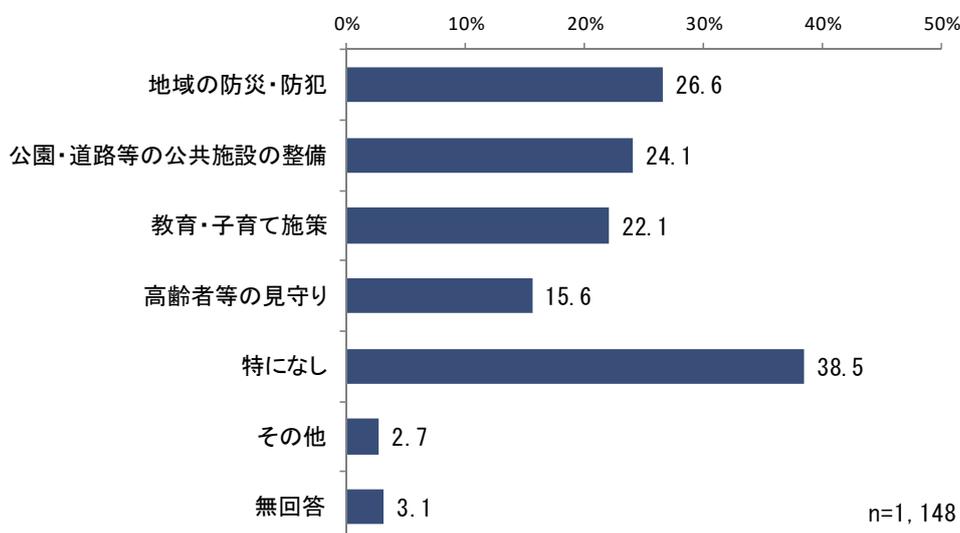
中野区への愛着度を聞いたところ、「とても感じている」(26.0%)と「どちらかといえば感じている」(55.7%)を合わせた「愛着を感じている」(81.7%)は約8割となっている。一方、「どちらかといえば感じていない」(13.7%)と「感じていない」(3.1%)を合わせた「愛着を感じていない」(16.8%)は1割半ばとなっている。



### 4 区政参加について

#### (1) 参加したい区への取り組み

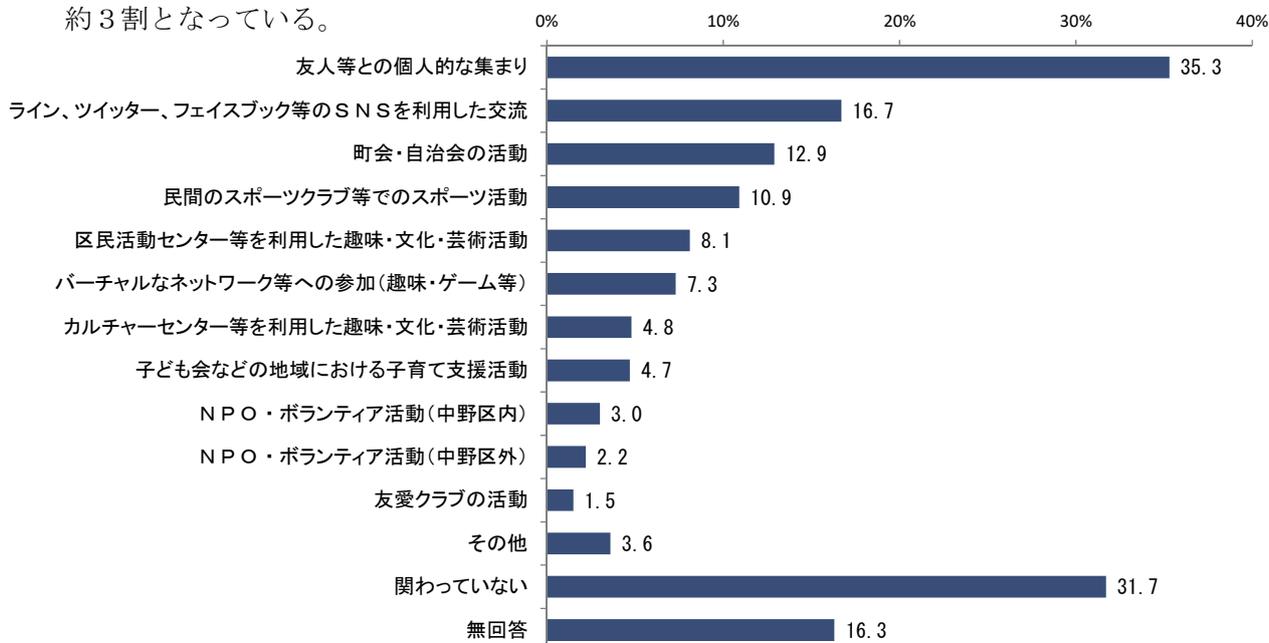
参加したい区への取り組みについて聞いたところ、「地域の防災・防犯」(26.6%)が2割半ばで最も高く、次いで「公園・道路等の公共施設の整備」(24.1%)、「教育・子育て施策」(22.1%)となっている。一方、「特になし」(38.5%)は3割後半となっている。



## 5 社会や地域との関わりについて

### (1) 最近1年間に参加した地域活動

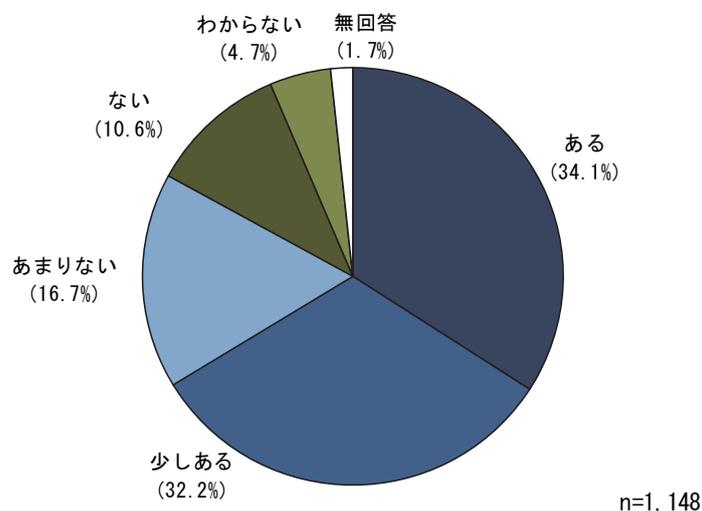
最近1年間に参加した活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（35.3%）が3割半ばで最も高く、次いで「ライン、ツイッター、フェイスブック等のSNSを利用した交流」（16.7%）、「町会・自治会の活動」（12.9%）となっている。一方、「関わっていない」（31.7%）は約3割となっている。



## 6 区民の文化芸術活動について

### (1) 芸術や文化の鑑賞、文化イベント参加への興味・関心

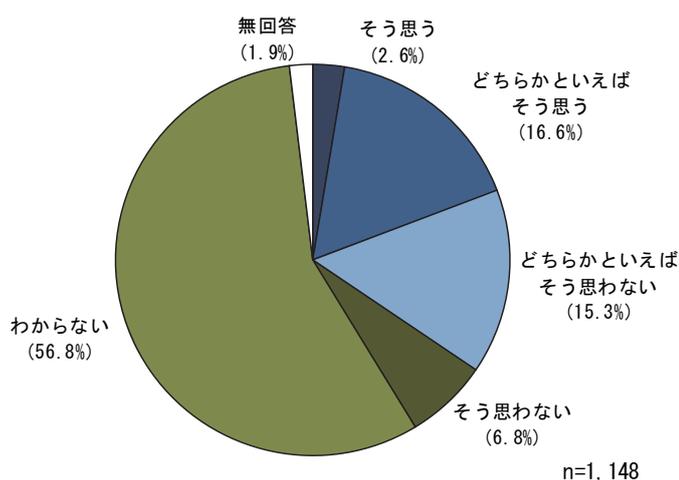
芸術や文化の鑑賞、文化イベント参加への興味・関心を聞いたところ、「ある」（34.1%）と「少しある」（32.2%）を合わせた《関心がある》（66.3%）は6割半ばとなっている。一方、「あまりない」（16.7%）と「ない」（10.6%）を合わせた《関心がない》（27.3%）は2割後半となっている。



## 7 生涯学習について

### (1) 生涯学習について

生涯学習の機会の充実について聞いたところ、「そう思う」(2.6%)と「どちらかといえばそう思う」(16.6%)を合わせた《そう思う》(19.2%)は約2割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(15.3%)と「そう思わない」(6.8%)を合わせた《そう思わない》(22.1%)は2割前半となっている。

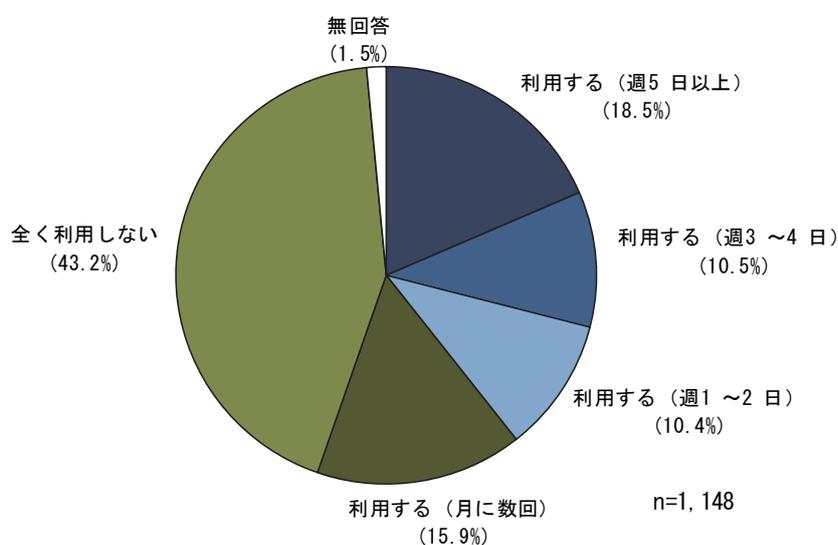


## 8 自転車利用について

### (1) 自転車の利用頻度

自転車の利用頻度を聞いたところ、「全く利用しない」(43.2%)が4割前半で最も高く、次いで「利用する(週5日以上)」(18.5%)、「利用する(月に数回)」(15.9%)となっている。

「利用する(週5日以上)」(18.5%)、「利用する(週3~4日)」(10.5%)、「利用する(週1~2日)」(10.4%)を合わせた《週1日以上》(39.4%)は約4割となっている。

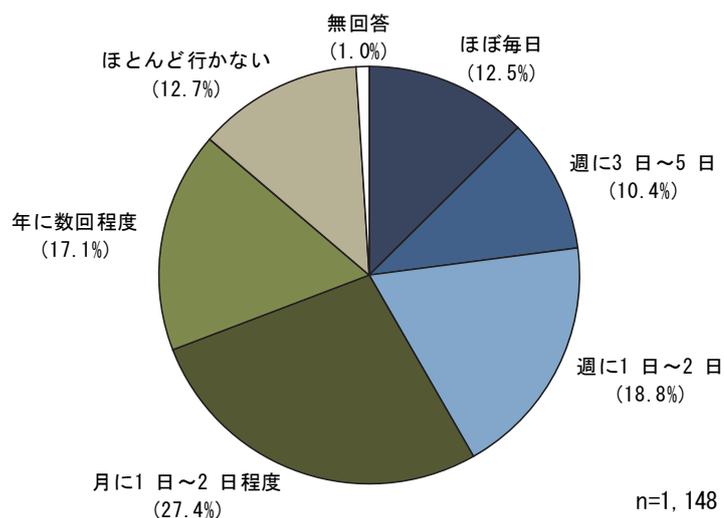


## 9 中野駅周辺について

### (1) 中野駅周辺に行く頻度

中野駅周辺に行く頻度を聞いたところ、「月に1日～2日程度」(27.4%)が2割後半で最も高く、次いで「週に1日～2日」(18.8%)、「年に数回程度」(17.1%)となっている。

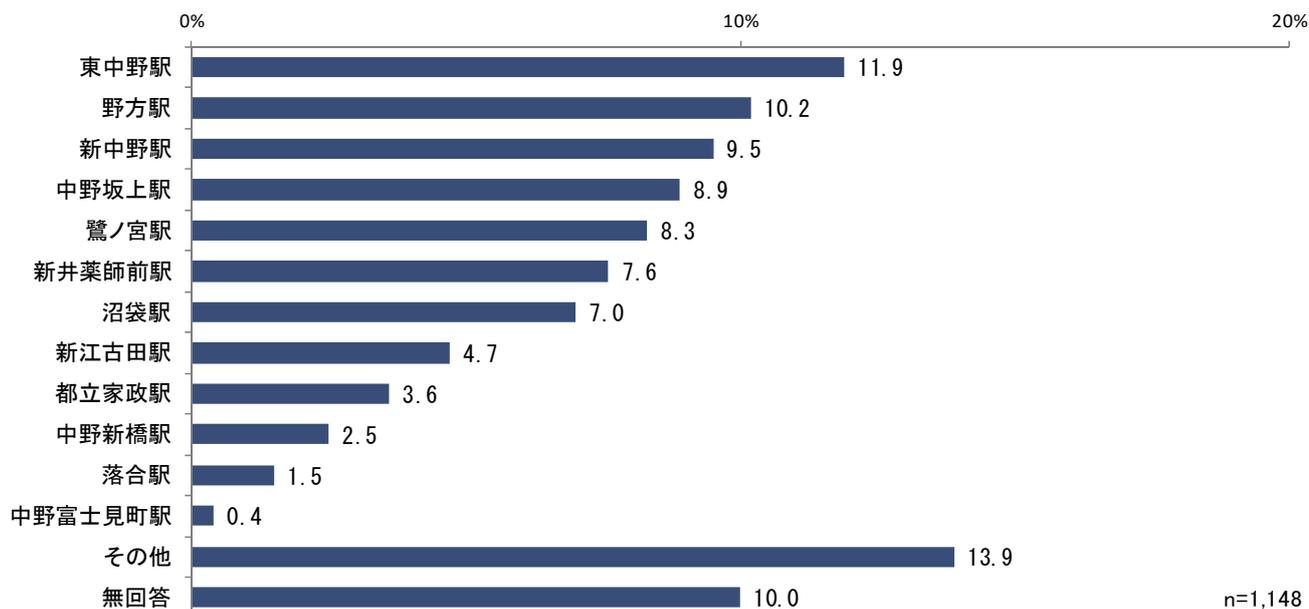
「ほぼ毎日」(12.5%)、「週に3日～5日」(10.4%)、「週に1日～2日」(18.8%)を合わせた「週1日以上」(41.7%)行く人は約4割となっている。



## 10 中野駅周辺以外の鉄道駅について

### (1) 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について

日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）を聞いたところ、「東中野駅」(11.9%)が約1割で最も高く、次いで「野方駅」(10.2%)、「新中野駅」(9.5%)となっている。

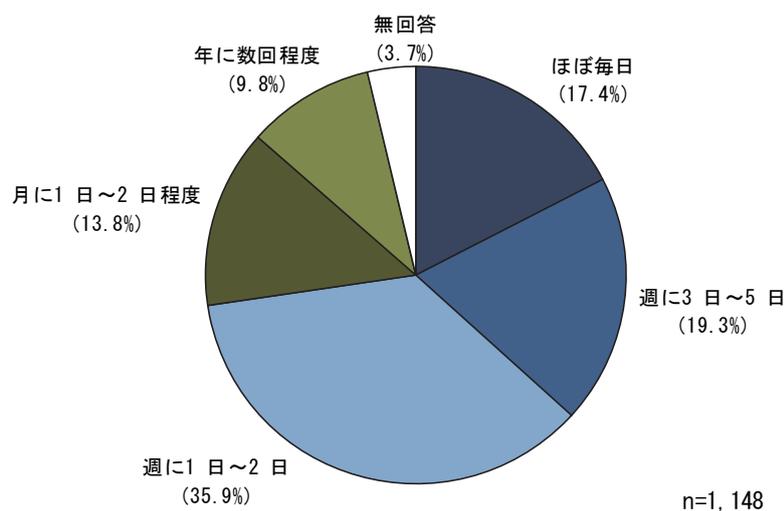


## 1 1 商店街に行く頻度について

### (1) 商店街に行く頻度

商店街に行く頻度を聞いたところ、「週に1日～2日」(35.9%)が3割半ばで最も高く、次いで「週に3日～5日」(19.3%)、「ほぼ毎日」(17.4%)となっている。

「ほぼ毎日」(17.4%)、「週に3日～5日」(19.3%)、「週に1日～2日」(35.9%)を合わせた「週1日以上」(72.6%)行く人は7割前半となっている。

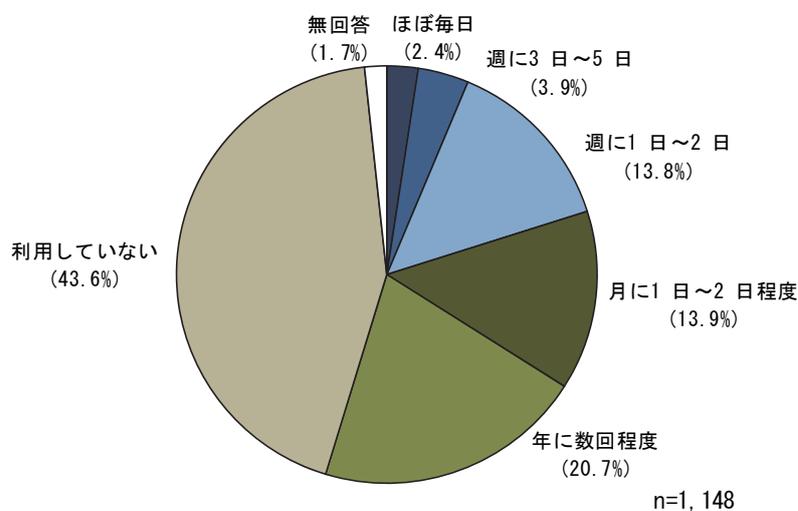


## 1 2 公園・広場等の利用について

### (1) 区内の公園や広場の利用頻度

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(43.6%)が4割前半で最も高く、次いで「年に数回程度」(20.7%)、「月に1日～2日程度」(13.9%)となっている。

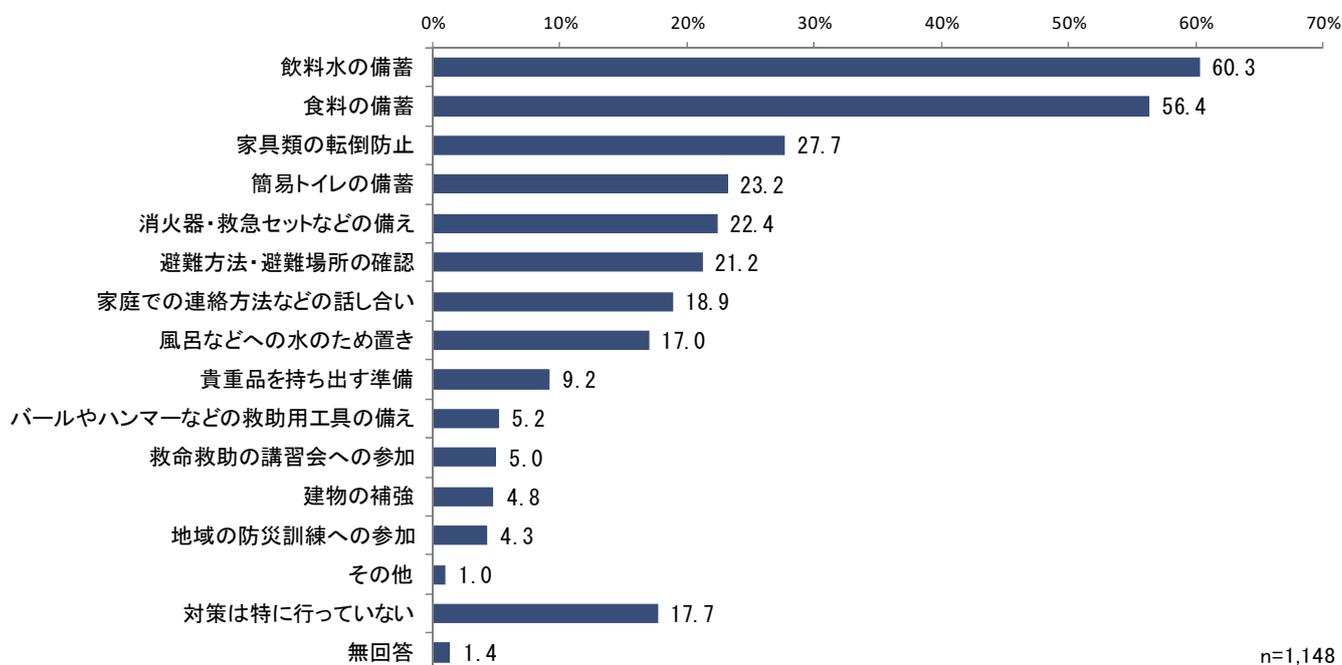
「ほぼ毎日」(2.4%)、「週に3日～5日」(3.9%)、「週に1日～2日」(13.8%)を合わせた「週1日以上利用あり」(20.1%)は約2割となっている。



# 13 地震災害への対策について

## (1) 家庭での備え

地震災害に備えて家庭内で行っている対策を聞いたところ、「飲料水の備蓄」(60.3%)が約6割で最も高く、次いで「食料の備蓄」(56.4%)、「家具類の転倒防止」(27.7%)となっている。

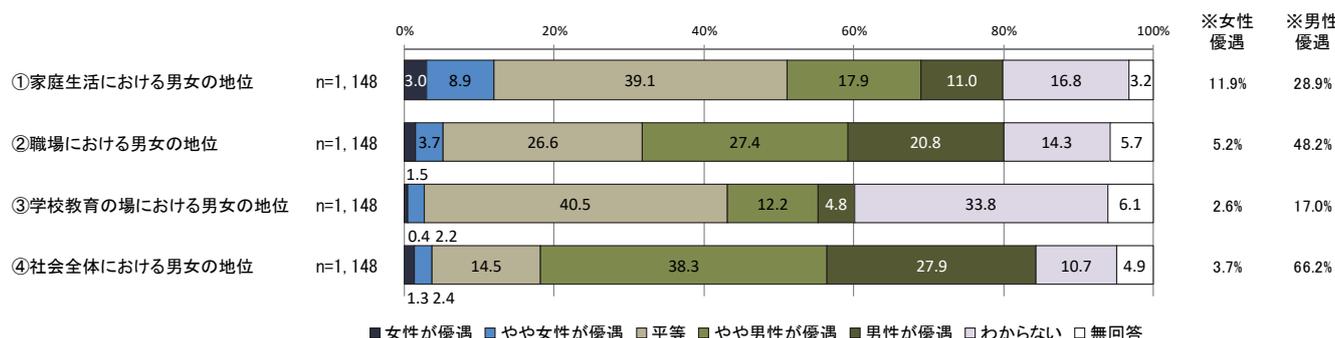


# 14 人権・男女共同参画について

## (1) 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位は平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高かったのは『③学校教育の場における男女の地位』(40.5%)であり、次いで『①家庭生活における男女の地位』(39.1%)、『②職場における男女の地位』(26.6%)、『④社会全体における男女の地位』(14.5%)となっている。

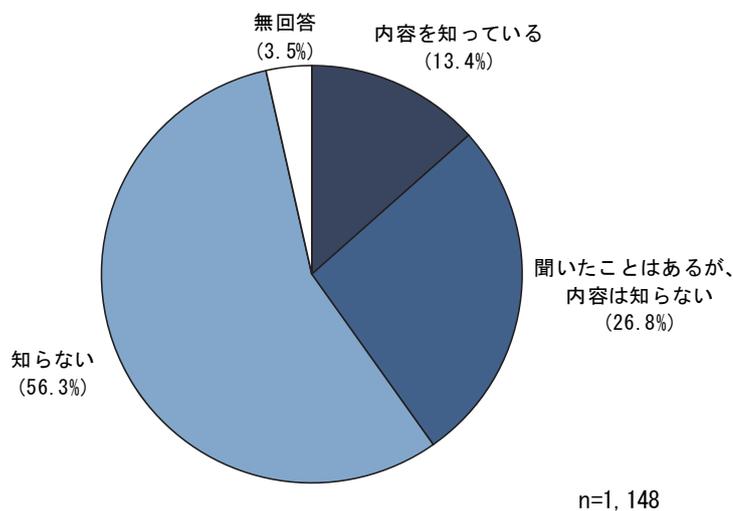
4つの分野はいずれも、「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた《男性優遇》が、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた《女性優遇》を上回っている。『④社会全体における男女の地位』では、《男性優遇》(66.2%)と《女性優遇》(3.7%)の格差が62.5ポイントと最も大きくなっている。



## 15 パートナーシップ宣誓について

### (1) 中野区パートナーシップ宣誓の認知度

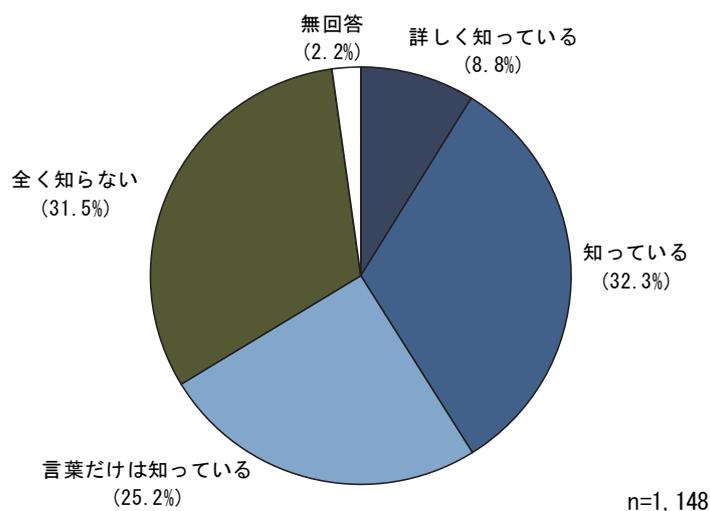
中野区パートナーシップ宣誓の認知度を聞いたところ、「知らない」(56.3%)が5割半ばと最も高く、ついで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(26.8%)、「内容を知っている」(13.4%)となっている。



## 16 ユニバーサルデザインについて

### (1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

「ユニバーサルデザイン」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(8.8%)、「知っている」(32.3%)、「言葉だけは知っている」(25.2%)を合わせた《知っている》(66.3%)が6割半ばで、「全く知らない」(31.5%)が約3割となっている。

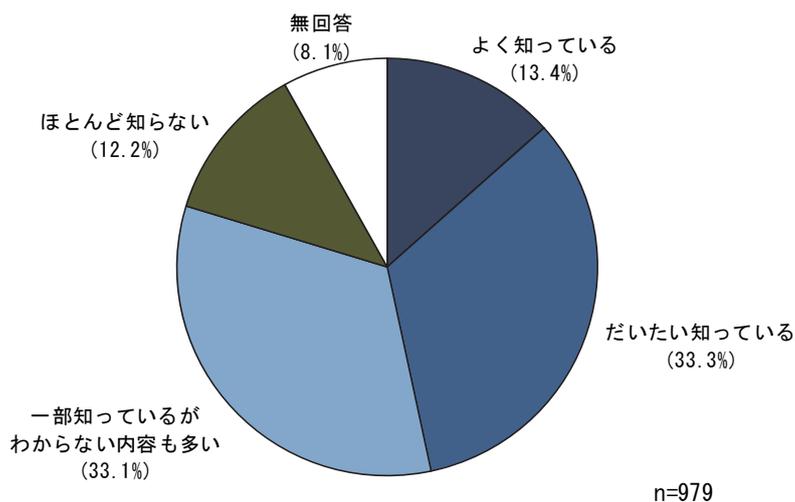


## 17 医療保険・国民年金制度について

### (1) 国民健康保険のしくみ認知度

74歳以下の方に国民健康保険のしくみをどの程度知っているか聞いたところ、「だいたい知っている」(33.3%)が3割前半で最も高く、次いで「一部知っているがわからない内容も多い」(33.1%)、「よく知っている」(13.4%)となっている。

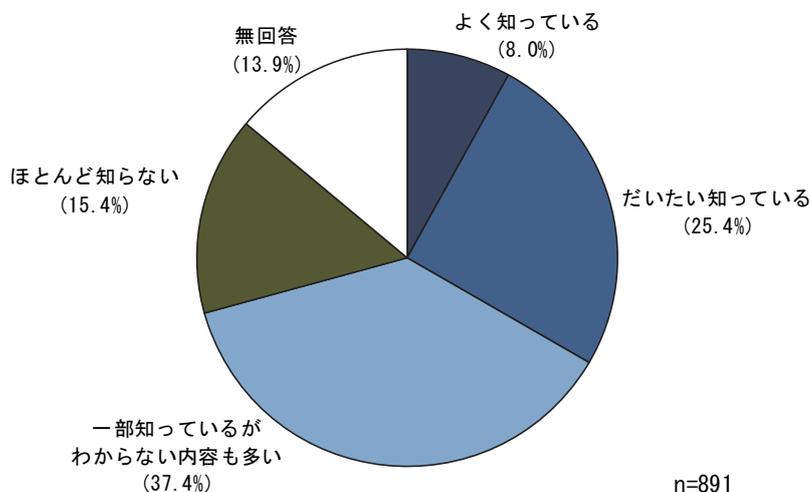
「よく知っている」(13.4%)と「だいたい知っている」(33.3%)を合わせた《知っている》(46.7%)は4割半ばとなっている。



### (2) 国民年金制度のしくみ認知度

65歳以下の方に国民年金制度のしくみをどの程度知っているか聞いたところ、「一部知っているがわからない内容も多い」(37.4%)が3割後半で最も高く、次いで「だいたい知っている」(25.4%)、「ほとんど知らない」(15.4%)となっている。

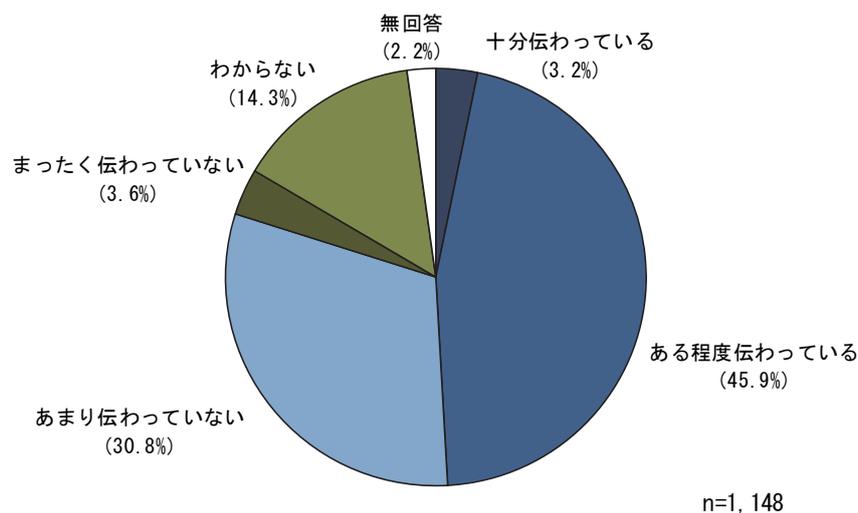
「よく知っている」(8.0%)と「だいたい知っている」(25.4%)を合わせた《知っている》(33.4%)は3割前半となっている。



## 18 区政情報の入手について

### (1) 区政情報の伝達状況

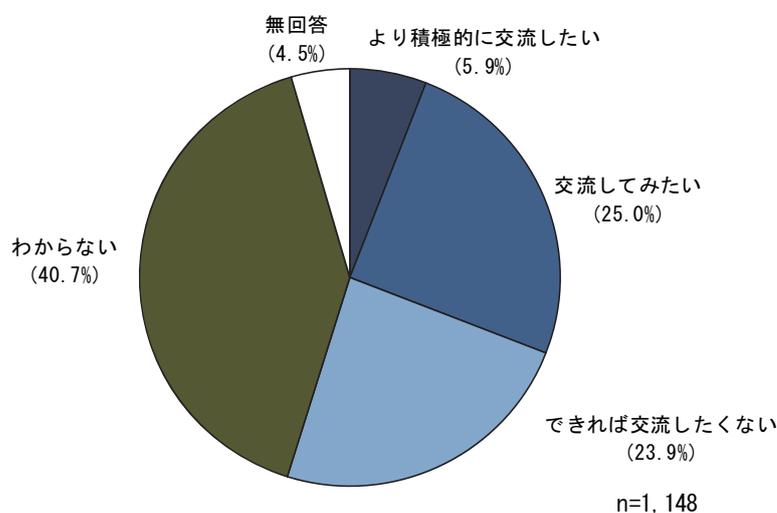
必要とする中野区の情報が伝わっているか聞いたところ、「ある程度伝わっている」(45.9%)が4割半ばで最も高く、次いで「あまり伝わっていない」(30.8%)、「わからない」(14.3%)となっている。「十分伝わっている」(3.2%)と「ある程度伝わっている」(45.9%)を合わせた《伝わっている》(49.1)は約5割となっている。



## 19 外国の方との交流・外国人旅行者について

### (1) 外国人旅行者との交流意向

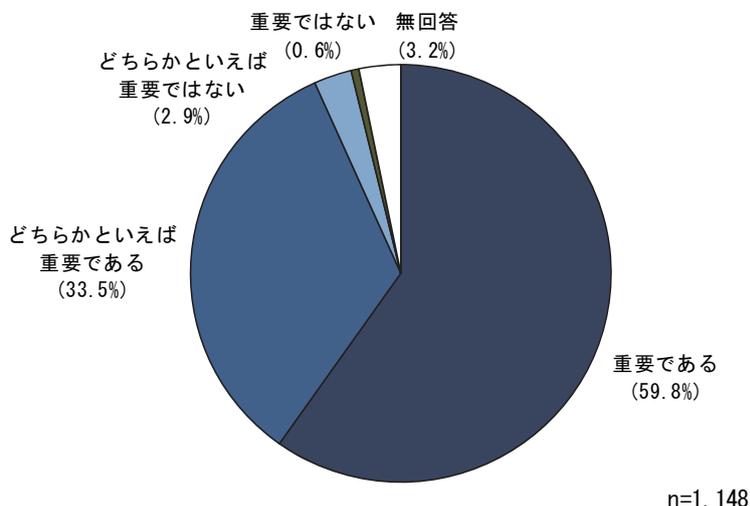
外国人旅行者との交流意向について聞いたところ、「より積極的に交流したい」(5.9%)と「交流してみたい」(25.0%)を合わせた《交流したい》(30.9%)が約3割となっている。一方、「わからない」(40.7%)は約4割、「できれば交流したくない」(23.9%)は2割前半となっている。



## 20 環境に関する理解・関心について

### (1) 環境問題対策の重要度

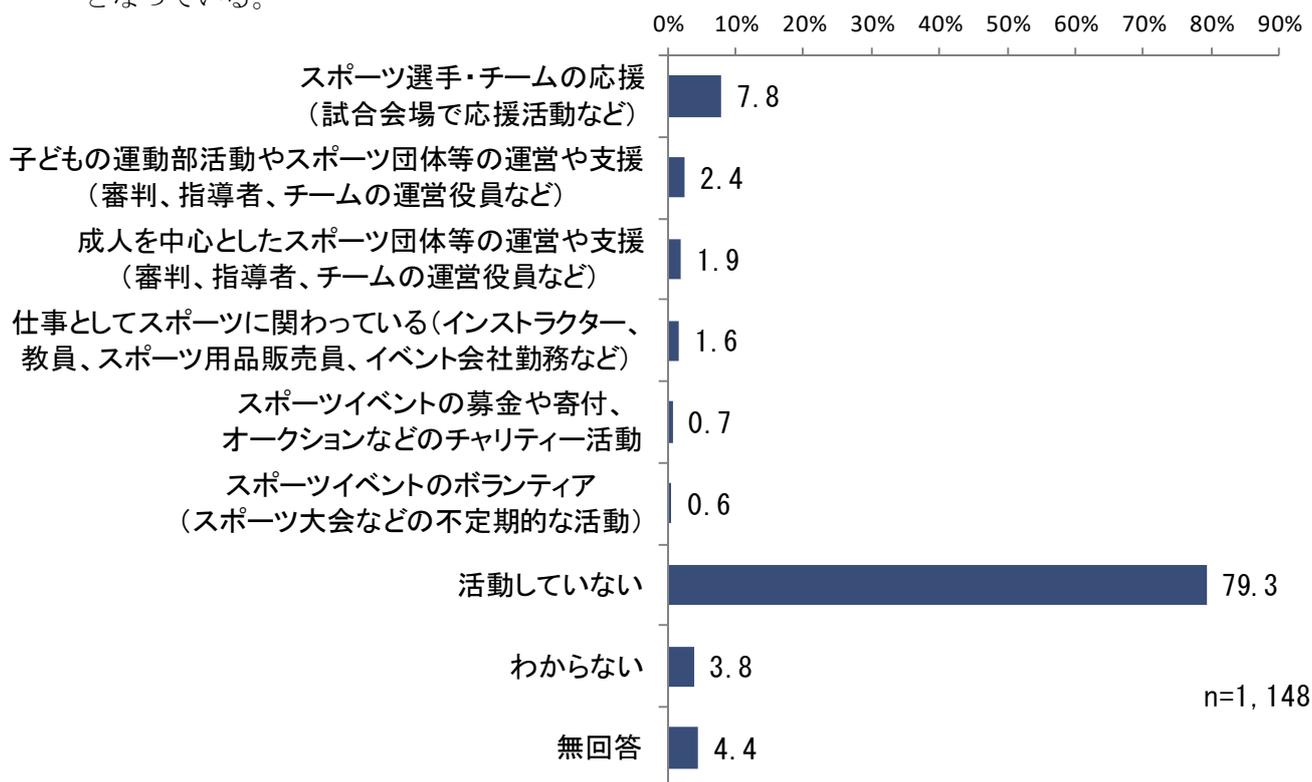
環境問題対策の重要度を聞いたところ、「重要である」(59.8%)、「どちらかといえば重要である」(33.5%)を合わせた《重要である》(93.3%)は9割前半となっている。



## 21 スポーツ支援について

### (1) スポーツを支える活動

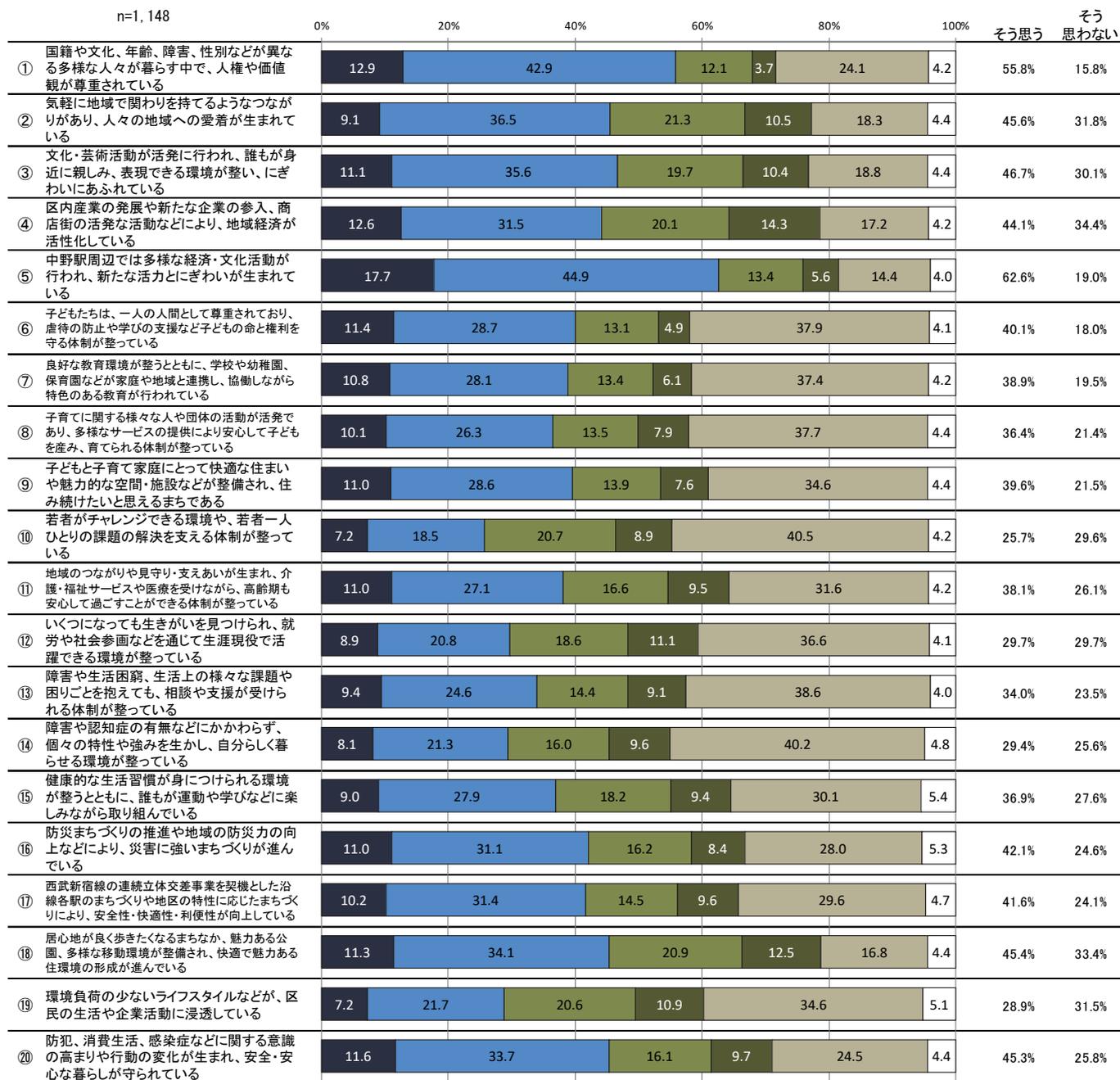
最近1年間にかかわったスポーツを支える活動を聞いたところ、「活動していない」(79.3%)が約8割で最も高く、次いで「スポーツ選手・チームの応援(試合会場で応援活動など)」(7.8%)、「子どもの運動部活動やスポーツ団体等の運営や支援(審判、指導者、チームの運営役員など)」(2.4%)となっている。



## 22 中野区のまちの姿について

### (1) 中野区のまちの姿について

中野区のまちの姿について、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う》は、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』(62.6%)が6割前半と最も高く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《そう思わない》は、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』(34.4%)が3割半ばと最も高くなっている。



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ わからない □ 無回答

## 23 施策への評価・要望について

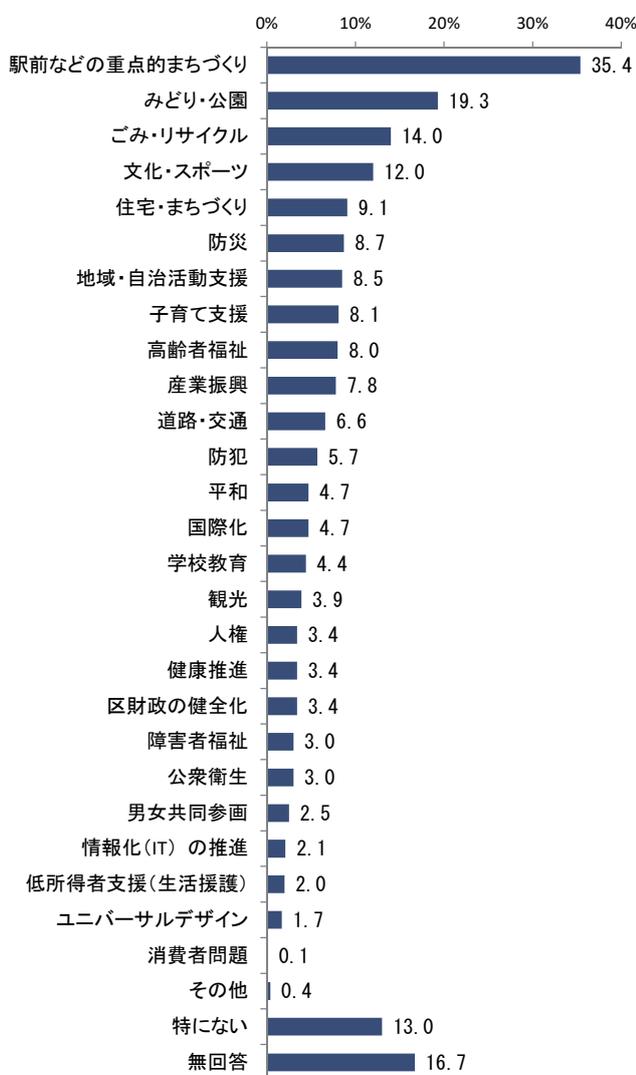
### (1) 区の施策への評価と要望

中野区が特に力を入れていると感じる施策（複数回答）を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」（35.4%）が3割半ばで最も高く、次いで「みどり・公園」（19.3%）、「ごみ・リサイクル」（14.0%）となっている。

今後特に力を入れてほしい施策（複数回答）について、第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計（第1位～第3位計）では「防災」（20.6%）が約2割で最も高く、次いで「高齢者福祉」（19.8%）、「みどり・公園」（19.3%）となっている。

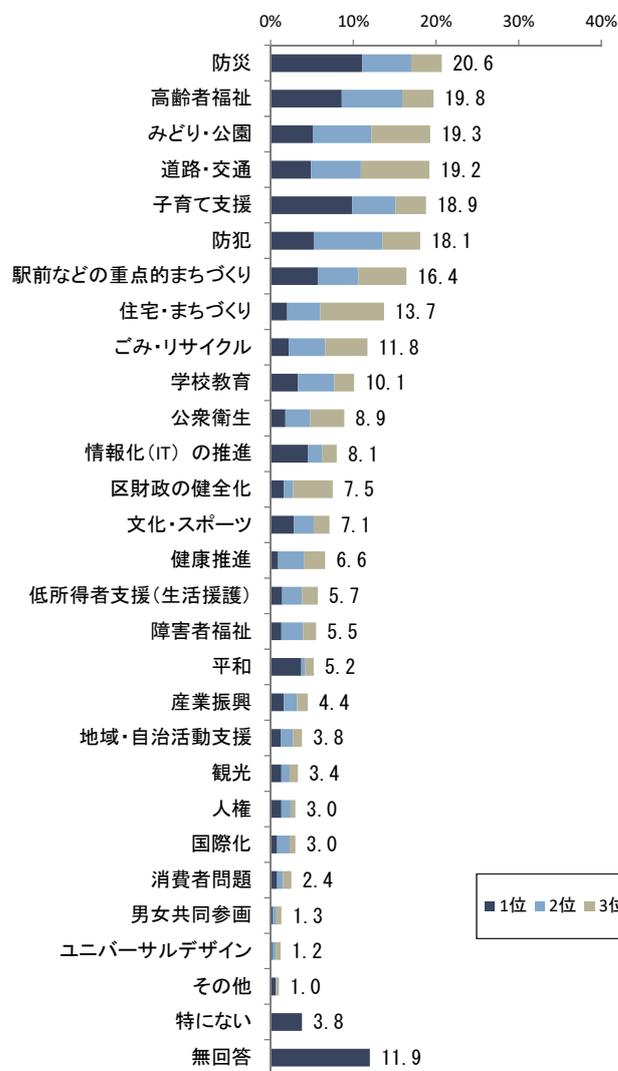
【区の施策への評価】

（3つまで回答）



【区の施策への要望】

（第1位～第3位と合計）

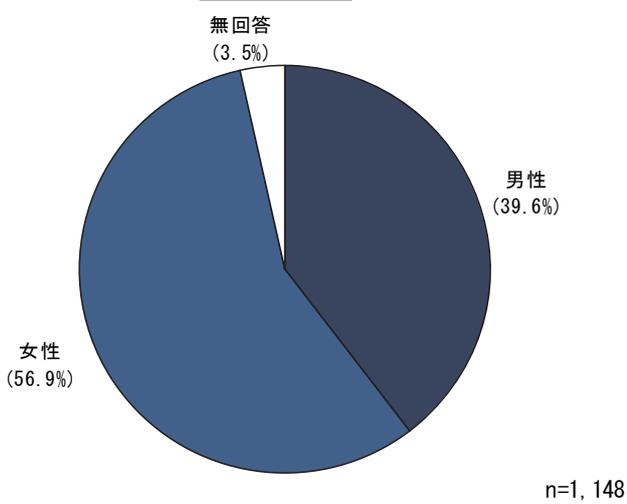


※「特にない」「無回答」は合計（第1位～第3位計）を表示

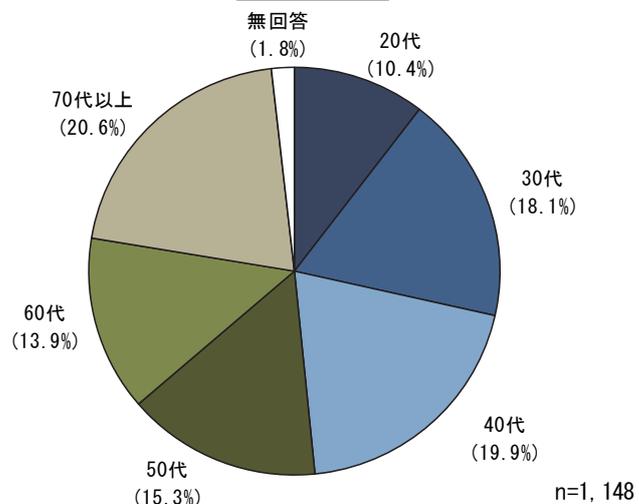


# 回答者属性

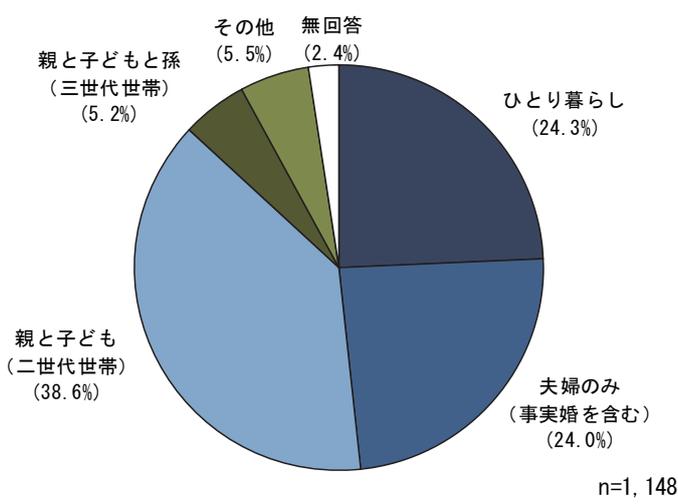
性別



年代



同居家族形態



居住地域



2020 中野区区民意識・実態調査報告書  
 令和3年2月発行 文書番号2中企企第643号  
 発行：中野区企画部企画課政策情報係  
 東京都中野区中野4-8-1  
 電話 03-3228-8892 (直通)